

宝木たより

第23号

発行 宝木地区まちづくり協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531



宝木ぶらり 5

石碑「男體山」

なんたい

細谷町に鎮座する雷電神社（本紙「宝木だより22号」で紹介）本殿西脇に擬灰岩を台座にした高さ1・6mほどの素晴らしい書体の男體山碑がある。碑の裏側には「安政四年丁巳九月吉日 永代講中、江村世話人、六軒村世話人、山崎村世話人（細谷村であろう）計二十八名」が刻まれている。我が国は、山が多く古くから山に宗教的意味を与えて崇拜し、種々の儀式・祭礼などを行なういわゆる山岳宗教が盛んであった。

登拝講社大祭は今から1200年以前の奈良時代末より連綿と続き、「山に登ることにより神靈をより深く身に受けて心身共に健康になる」という男体山信仰に根ざしたもので、登拝講社を中心とした祭りです。

この石碑は安政4年（1857年）であるから幕末の時代で丁度160年前に建立されたもので「村田、山本、岩上、荒井、池田、田村、阿部等々の宝木地区では聞きなれた名が刻まれている。

男体登拝講は、県内はもとより関東各地にあり、一般民衆が参加できるに行として、江戸時期頃から相当の賑わい。



森 紙 荣
杉山 克幸
智之

地区体協弓道部は昨年10月2日開催された市民スポーツ大会弓道大会に出場し、一昨年に続き5回目の優勝をしました。今回は35チームによる予選、16チームによるトーナメントを勝ち抜きました。

選手は次の通り。

谷古宇秀樹
栗本 栄
杉山 克幸
智之



細谷町に鎮座する雷電神社代表として男体山奥宮に詣てる代参は、各講員にとって一世一代の重大な体験であり、この碑は当時男体山登拝した村人たちがその記念に建立したものです。現在の男体山登拝祭は、日光二荒山神社中宮祠の最大の祭りで、毎年7月31日より8月7日までの一週間は、登山口が午前零時に開けられ、夜間の登山ができ、山頂でご来光を仰ぐことができます。写真左・碑のある境内、右下は早春の遊覧船から男体山。

細谷町に鎮座

いを見せていました。毎年参加の講員が選抜され、村人の代表として男体山奥宮に詣てる代参は、各講員にとって一世一代の重大な体験であり、この碑は当時男体山登拝した村人たちがその記念に建立したものです。現在の男体山登拝祭は、日光二荒山神社中宮祠の最大の祭りで、毎年7月31日より8月7日までの一週間は、登山口が午前零時に開けられ、夜間の登山ができ、山頂でご来光を仰ぐことができます。写真左・碑のある境内、右下は早春の遊覧船から男体山。

まちづくり協議会 28年度の足跡

まちづくり輪投げ大会 (10月)

ちの立場になり支援をしております。
子ども・障がいのある児童については、主任児童委員が担当し、学校や関係機関と連携しながら親身になってサポートしています。

まちづくり協議会が新たに取り組んだ事業等を紹介します。

自治会役員研修 (5月)

自治会長の執行部役員を対象に、明保地区自治連会長島田弘一氏を招き研修会を開催しました。

幹事会の創設 (7月)

まちづくり協議会の活性化と効率的な運営を図るため、NPOによる幹事会を設立し、地域ミニユニークセンター運営管理に関することや各団体間の情報交換とその共有化に努めています。

族研究会員を招き宝木用水など先人が育んできた足跡を学びました。

幹事会の提案により、会長職にあり行政等から表彰なく退任する会長等を表彰する制度を制定しました。

4月の総会で初の該当者として、長年こぶしの会会長を務められ退任された圓岡春枝さんに贈りました。

常任理事会の制定 (4月)

まちづくり協議会の効率的な事業を推進するため、毎月開催している自治会長会議に学校代表として宝木小学校長を加えて常任理事会として役員会に代え審議決定することとしました。

輪投げが高齢者の楽しい交流の糧となり、その輪が広がることを期待しています。



まちづくり講座 (8月) 宝木の歴史を勉強しようと、下野民

た。



民生委員制度一〇〇年を迎えて

宝木地区民・児協会会長 田 村 保 之

本年5月、民生委員制度が創設100周年という大きな節目を迎えました。

この制度は、大正6年岡山県で「漬世顧問制度」として始まり、時代の変遷とともに少しづつ形を変えながら、地域住民の身近な相談相手としてその役割を果たしてきました。

具体的な活動例を紹介します。

- ・ 独り暮らしの高齢者宅を定期的に訪問するなど地域から孤立者が出てないよう心がけた活動をしています。
- ・ 健康・医療・介護など生活するうえでの心配や悩み等にも、その人た



新任校長の紹介

ご挨拶

市立宝木中学校長 手塚 宏行



校長の手塚宏行です。泉ヶ丘中学校から赴任しました。私は、3年前陽西中学校副校長でしたので、この宝木地区には「帰つてきました。」といふうれしい感覚があります。

さて、地域の皆様には、本校の教育に対しまして丁寧な温かい支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。感謝とお礼を申し上げます。

前任者同様、生徒の健やかな成長を願い、教職員とともに教育活動にあたってまいりますので。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度の生徒数は382名となり、昨年度より14名多くなりました。生徒には、「挑戦しましよう。」「前向きな振り返りを大切にしましよう。」と機会あるごとに話しています。生徒が明るく元気に、かつ充実感や成長を感じられる学校生活を送って貰えることを願っています。

ご挨拶

市立宝木小学校長 黒川 悅夫

4月の異動で宝木小に赴任しました。全校生691名の大きな学校への赴任で少し不安でしたが、子どもたちの元気なあいさつや明るい笑顔にふれて、その不安も吹っ飛びました。

宝木小には、大きなメタセコイアの木があり、みんなに愛されています。「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」の教育理念のもと、たくましい子、よく学ぶ子、やさしい子の育成を目指しています。この素晴らしい学校で子供たちと生活できることをうれしく思います。

この学校を支えてるのは、なんだろうと考えると子供たち、先生方、保護者の方はもちろんですが、まちづくり協議会をはじめとする地域のいろいろな方が、愛情をもつて協力いただいているからだと日々を感じている次第です。これから子供たちともどもお世話をになりますがよろしく願いたします。



宝木団地自治会

● 団地の美化は自分たちで

宝木団地は、1000世帯が入居できる市内でも大きな公営住宅団地です。自治会はこの大きな団地をきれいな住処にしようと話し合ひ、毎月第一日曜日を「清掃の日」に設定しました。当日は入居者全員参加で公園、側溝、新川、道路、空き地等を季節に応じて重点箇所を決め清掃を行なうきれいな環境づくりに努めています。(写真は、側溝掃除をする住民)

宝木町一一一自治会

● おやじの会

育成会の父親たちの組織です。育成会の役員は母親たちで、大変苦労を掛けています。そこで、都合のよい時だけでもおやじも手伝おうとしていましたが、地域のイベントに積極的に参加・支援しています。(写真下は夏休みの竹細工指導)



わが自治会の誇り・自慢



各種団体総会（まちづくり）

育成会球技大会

28年度の あんなこと こんなこと

防災訓練（自分の身を守る訓練）

防犯パトロール犬
犬の散歩は、それ自体でも防犯に大変効果があると言われます。加えて写真の様な前掛けはより大きな効果をもたらすでしょう。犬を散歩する方この着用に御協力ください。

ごみのポイステ禁止看板
従来の、警察・処罰という文字から、市民の良心に訴える文面にしました。ある地域ではコンビニ近くに空き缶が捨てられていましたが、これを掲示後ほとんどなくなつたそうです。

AED講習会

まちづくり懇話会



5月13日コンセーレにおいてまちづくり協議会を構成する団体役員による懇話会が64名の参加を得て盛大に開催されました。各々の団体役員として情報・意見の交換そして交流の場として有意義な時間を過ごしました。また、今回は市が推進している「もったいない、残しま10（てん）」運動を実践するため、歓談の初めと終わりの10分間は自席で料理を食べる時間とし、食べ物をできるだけ残さないように推奨しました。



清水さんは、昨年11月をもって退任されました。実際に15年にわたり福祉活動に貢献されたその功勞が認められ大臣表彰を授与されたのです。清水さんは、平成13年に民生委員になりましたが、担当する地域が市営団地ということで、「特に、独り暮らしの方の安全・安心な生活の確保」に重きをおいてつとめました」とすぐさま嬉しい笑顔で話されていました。

厚生労働大臣表彰

前民生委員 清水 操さん

自転車運転免許証の取得

交通安全・老人クラブ！

6月10日高齢者の自転車による交通事故を防ぐため中央警察署の支援を得て自転車乗り方教室を開催しました。校庭で自転車の安全な走行実技を行い、その後事故事例から自転車による事故を防ぐためのポイントの講義があり、講習を受けた方全員に警察から「自転車運転免許証」が交付されました。受講者から、大変勉強になったとの声が寄せられました。



あとがき

4月のまちづくり総会

でお話しましたが、皆さん
団体の事業は、地域の方に
知つてもらつうことが大切で
す。地域の方に知らせること
と即ち広報しなければ何
もやつていらないと思われ
しまうでしょう。
これは大変残念なこと
です。写真を撮つて事務局
にアピールしてください。
本紙「宝木だより」で紹介
します。（お）